

■ 親と子の都市と建築教室 2024（第 24 回）（大阪会場） 活動レポート

<まちつくタイムトラベル～〇年後のまちをつくろう～>

日時：1 日目 2024 年 8 月 3 日（土）13：00～17：30

2 日目 2024 年 8 月 4 日（日）10：30～16：30

会場：大阪市立住まい情報センター 3 階ホール

大阪市立住まい情報センター、（公社）大阪府建築士会および当支部の 3 団体による共催行事として、子どもたちが設計者となり、親と一緒にダンボールや紙パイプを用いて「まち」をつくるワークショップが開催された。24 回目の開催となる今年は 1 日目の参加者が 56 名（うち、小学生 25 名）、スタッフ 50 名（うち学生スタッフ 37 名）、2 日目の参加者が 57 名（うち、小学生 26 名）、スタッフ 68 名（うち学生スタッフ 47 名）であった。

1 日目は、今回のテーマとなる「まちつくタイムトラベル～〇年後のまちをつくろう～」について、学生スタッフによるプレゼン、寸劇やクイズを通じて学び、4 つのチームに分かれて各チームのテーマ（10 年後、30 年後、50 年後、100 年後）に従って作りたい建物やまちのイメージを各自でスケッチにした後、親と学生スタッフとで協力しながらダンボールでまちを製作した。2 日目は、午前から作業を開始して、最終的に子どもたちの想像力を具現化した「まち」をホールいっぱいにつくり上げた。子どもたち全員が自分の作品についてプレゼンをしたあと、チームごとに「ほっとひといきつけるで賞」「地球も笑ってるで賞」「時代に流されないで賞」「エネルギーで賞」の各賞および「まちつく大賞」が 1 チームに贈られ、各賞のシールと缶バッジの記念品を贈呈した。ホールには親と子のにぎやかなやりとりがみられ、「まち」を作る楽しさとともに、多くの学びと経験を得た 2 日間となった。4 月から打ち合わせを重ねて「まちつく」の成功にご尽力いただいた、住まい情報センターと（公社）大阪府建築士会の関係各位、学生スタッフには、心より感謝申し上げる。

柏尚稔、福本義之、栗山尚子、大谷康二／近畿支部常議員



完成した「まち」の様子